

きらら としょかん



# 新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 251

R5. 1月号



## 明けましておめでとうございます



本年も新屋図書館をどうぞよろしく願いたします



### 親子映画鑑賞会



#### 『新・恐竜大進撃』『可憐な生物たちの彩り』の2本立てです

日時	1月28日(土)	場所	新屋図書館 研修室
	午前の部→10:30~12:10	参加費	無料
	午後の部→14:00~15:40	定員	小学生とその保護者 各回10組

申込み 1月7日(土) 午前10時~

電話(018-828-4215)、または開館時にカウンターで受付。

\*詳しい内容等は職員にお尋ねになるか、館内ポスター・ちらしをご覧ください。



### 特別展示「わん! ダブル犬展」

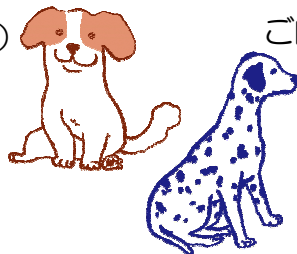


期間：1月5日(木)~1月29日(日)

場所：渡り廊下

1(わん!)月は犬が乗っ取った!!

犬に関する資料を展示、貸し出しします。



ご自宅のわんちゃんの写真大歓迎!!

お持ちいただいたお写真は

期間中展示させていただきます。

詳しくは職員にお尋ねください。



### 1月のおはなし会



1/7(土) 14:00~14:20

幼児~小学生

お正月あそび



1/17(火) 10:30~10:50

赤ちゃん~

あたたまろう



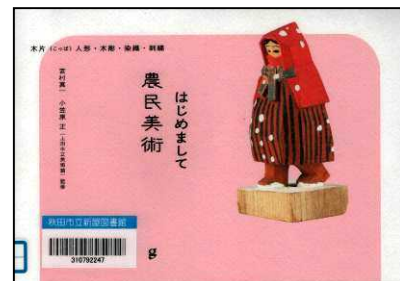
## 新刊案内

### はじめまして農民美術 木片（こっば）人形・木彫・染織・刺繍

宮村 真一、小笠原 正／監修

グラフィック社 請求記号 750.21 （工芸）

画家の山本 <sup>かなえ</sup> 鼎が提唱し、農閑期の副業と芸術活動への参加を目的に、農村部の若者が制作した工芸品たち。ページをめくるたび、その素朴さ愛らしさに心惹かれます。来年生誕120年を迎える秋田県出身の勝平得之の木彫人形は、赤れんが郷土館でも見る事ができます。



### 英会話は筋トレ。

中2レベルの100例文だけ！1か月で英語がスラスラしゃべれる。

船橋 由紀子／著

かんき出版 請求記号 837.8 （英会話）

著者は英語学習コーチであり、筋トレ愛好者。「英会話も筋トレも反復練習が大事！」という発想に基づき、厳選されたシンプルな例文と、それを使った反復練習のスケジュールが掲載されています。また、「audiobook.jp」を利用して、例文を音声で聴くことも可能です。



### 相棒は秋田犬 現代の縄文犬と共に過ごした3989日

村山 二郎／著

カンゼン 請求記号 645.6 （犬）

秋田犬を家族として迎えた著者の試行錯誤の日々が綴られています。頑固で力が強くて寂しがり屋な秋田犬の <sup>てんぼう</sup> 天鵬。散歩ひとつとっても苦勞が絶えません。互いに理解し関係を築いていく数々のエピソードからは、犬と暮らすことへの覚悟を問われているような気がしてきます。



### 十年屋 時の魔法はいかがでしょう？

廣嶋 玲子／作

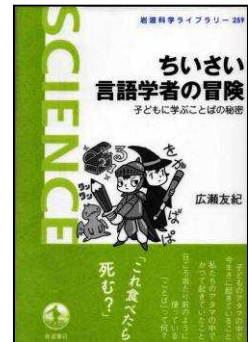
静山社 請求記号 91ヒ （読みもの）※小学校5年生くらいから

大切だけれど、どうしても手元に置いておけないものがある？そんなときは「十年屋」へ。お荷物を10年間お預かりする代わりに、お客様の寿命1年分をいただきます。悩みごとを預けてしまえば安心です。さて10年後の結末は…？「銭天堂」シリーズ著者が描く、時の魔法。



## 図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

書名	ちいさい言語学者の冒険 子どもに学ぶことばの秘密
著者名	広瀬 友紀／著
出版社	岩波書店
所蔵	新屋、土崎 請求記号 801 （言語学）



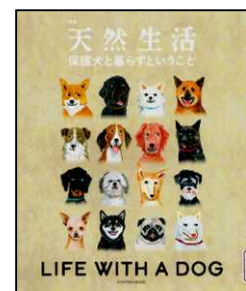
「これ食べたら死ぬ（死ぬ）？」「これでマンガが読められる（読める）」「にんげんのいぬ（ぬいぐるみの犬と区別して、生きている犬）」…どれもまだ小さい子どもたちの言い間違いの一例です。かわいい！とほのぼのしてしまうようなものばかりですが、そんなことばが彼らの口から飛び出してくるまでの思考回路には、どうやら私たちが想像している以上に

しっかりとしたルールがあるようで…。

聞き取った言葉から自分の力で法則を見つけ出し、それを駆使して言いたいことを伝えようと努力を重ねていく。そんな“ちいさい言語学者”たちの奮闘を知れば、かわいい発言を「おっ、それは過剰一般化だね？」「まだ拍じゃなくて音節でことばを認識しているんだね～」と もっとディープに楽しむことができそうです。

## 図書館員（三浦 きらり）のおすすめ本

書名	別冊 天然生活 保護犬と暮らすということ
出版社	扶桑社
所蔵	土崎 請求記号 645.6 （犬）



ここ数年、テレビなどでもよく耳にするようになった「保護犬」。保護犬と聞いてどんな犬を想像しますか？人慣れしていない、飼うのが大変そう。そんなイメージを持っている人も、この本を読めば保護犬を身近に感じるはず！

保護犬の中には辛い経験や怖い思いをした犬も少なくはないので、その子にあった暮らしかたや過ごしやすい空間が必要です。本書では、

犬たちがそれぞれ新しい飼い主と出会い、愛情をたくさん受け、優しい表情で穏やかな『犬生』を送っている姿を見ることができます。

日本では犬との出会いはペットショップが主流ですが、海外では保護活動が進んでおり、施設から引き取ることが当たり前です。犬を家族に迎えたいと考えている方。是非一度この本を手にとってみませんか？

## 記事になったお酒の話題あれこれ…海外へ向けて…

日本酒の海外進出が加速しています。日本酒「<sup>だっさい</sup>瀬祭」の製造元である旭酒造は、海外初の生産拠点を現在アメリカに建設しています。2023年春の稼働をめざしており、海外向け新ブランド「DASSAI BLUE」を生産する予定です。

一方で、各地の地酒を手軽で飲みやすい1合(約180ml)の缶入りで販売しているベンチャー企業・アグナビは、東南アジアへの本格輸出を開始しました。この「ICHI-GO-KAN」シリーズは多様で味わい深い地酒をオシャレなラベルで販売しており、昨年11月には、全国の銘酒がシンガポールと香港の店舗に並びました。将来は中国や欧米にも販路拡大を目指す予定です。世界各地に日本酒ファンが増えてくれたら嬉しいですね。

新屋は、醸造の街。  
新屋図書館には、酒の  
資料コーナーがあります。

### 【参考資料】

2022年11月16日  
日本経済新聞

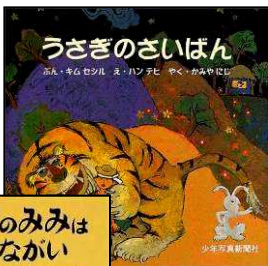
2022年11月19日  
秋田魁新報

## 今、あなたへ…おはなしの中のうさぎ…

2023年はうさぎ年。うさぎといえば、日本では「月に住み、餅をついている」というエピソードを筆頭に、たくさんの昔話や伝承に登場しています。そしてどうやら、うさぎを身近に感じ、おはなしに登場させるのは万国共通のようです。

おとなり韓国(朝鮮)の昔話『うさぎのさいばん』(少年写真新聞社)、メキシコの昔話『うさぎのみみはなぜながい』(福音館書店)、北米インディアンの昔話『天の火をぬすんだウサギ』(評論社)では、どれも知恵の回るちょっとわるがしこいうさぎが活躍します。それぞれ別の地域、別の文化で語り継がれたおはなしですが、うさぎに対するイメージが似通っているようなのが興味深いところです。

昔話のうさぎは、このような「知恵者」として描かれる一方、小さくて非力な印象からか、強い動物にいじめられてしまうエピソードも多く見られます。昔の人々が、“うさぎ”という動物になにを託して語ってきたのか…おはなしを読みながら考えてみるのもおもしろそうですね!



## 図書館員のひとりごと

最近ドラマに刺激され、「絶対行きたい!」と思う場所が見つかった。

まずは、伊豆の国市「願成就院」。北条時政ゆかりの寺。運慶作の五体の仏像がある。いずれも国宝である。運慶の仏像、只々拝顔したい。次に、鎌倉市「覚園寺」。北条義時ゆかりの寺。十二神将など国重文の仏像が充実している。34年前にも訪れたが、今一度拝観したい。最後に、青梅市「武蔵御嶽神社」。伝島山重忠奉納の大鎧がある。これも国宝。「坂東武士の鏡」と称された彼の魂を感じたい。

ここ数年どこへも行けていないので、今年はやせめて一か所でも行ってみたい。(清水)

落ち葉拾いに汗を流した我が家の庭にも雪が積もり、庭仕事もひと休み。先日は、木蓮の冬芽を見つけて心が癒されました。庭の木々は、着々と冬を越す準備をしていたようです。私にとって初めての冬越しで、秋に大急ぎで植えたチューリップの球根が無事かどうか、ちょっと心配です。風除室には、母が大切にしていた君子蘭を収納しました。庭を華やかにしてくれた花たちが愛おしく、冬越しさせようと、あれもこれもと入れていくうちに、風除室が鉢だらけに。そんな日々ですが、庭の花や木の心配ばかりしていないで、自分も新しい年の始まりにやるべきことをしなければ…。(伊藤)